

藤間秋男の

お元気さまです。

●今月の経営テーマ “計画的に仕事に取り組もう!”

計画的に仕事に取り組むことで次のようなメリットがあります。

①やる事が明確になります ②積極的な行動ができます ③仕事の仕方を見直すことができます

④改善点がうまれ仕事の質が上がります ⑤効果的・効率的な仕事ができます

素直にものが見える人は過ちが少ない

株式会社 日本創造教育研究所『理念と経営』カレンダーより



(1) 第4回「100年企業サミット」を 11月26日(水)14:00~17:15 まで開催します。永続企業を学ぶ機会です!
過去、虎屋、トムバ、山本海苔店、鈴屋、かまぼこ、榮太樓、總本舗、太田胃散などの100年以上の企業の社長に3回集まり、いながらパネルディスカッションを行い、何故100年以上続いたのかを公表していたのです。
今回は、100年以上続く吉本興業、常務の木村様から永続経営のあり方の講演と、600年以上続く三ッ子、200年以上続く竹菰茶店、龍角散、松山商店にパネルディスカッションを行い、どうして200年以上続いたのか? 過去どんな危機があったのか? 何を乗り越えたのか? などと質問して、皆様の長寿企業の参考として頂きたいと思っています。(別紙参照下)
TOMAは日本一多くの100年企業を創り続け、1000年続くコンサルティングファームを目指します。

(2) ①「どうせ死ぬときは来るから、生きている間は」といって早く生きよう。北野武(ビートたけし)

生きている間の方が限りがある。早く生きる方が建設的に創造的。

② 自分がいつ死ぬかわからないと思えば、何かを失うのでは人生。ないかと恐れたり思い悩むことなく決断できる。(スティーブ・ジョブズ)
当時は今から見たら、アップル社に昔、解雇されたことは私の人生で起った最良の出来事だったと後で分かった。私は解放され、人生の中で最も創造的な時期を迎えた。

③ 何いも思いきってやってみることにする。どうしたって死ぬんだ人間。野田の石ころ同様。骨となる。一生おわるのだから。(坂本龍馬)

(3) ① 日本は最も信頼できる国 (長谷川慶太郎)
外務省が2014年に発表したASEAN調査(インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、 베트남、7ヶ国)によれば

① 最も信頼できる国

NO.1 日本	33%
2 アメリカ	16%
3 イギリス	6%
中国	5%
ロシア	3%
韓国	2%

② 重要な将来のパートナー

NO.1 日本	60%
2 中国	43%
3 アメリカ	40%

日本を最も信頼する、たくさんの親日的なアジアの国々がある。

TOMAグループも昨年シンガポールと支店をつくり、日本の中小企業の海外進出コンサルティングを多数経験しました。9月には私もシンガポール、マレーシア、インドネシアへ行き、各国の代表の实感と日本への期待を感じました。TOMAグループの国際部門青藤部長は、アセアン諸国(ほとんどすべて)、現地の日本人会計事務所、日本人弁護士、ジエトロ、日本の銀行の現地支店すべてお知り人脈もたくさんありますので紹介も可能です。お気軽にご相談下さい。

② 日本人はできる。(船井幸雄)

「これまで日本は欧米に追いつけ、追い越せでやってきて、本当の意味でのリーダーシップを發揮した歴史がある。けれど、心算はしなくてよく、日本人は人類の未来をリードしていく哲学、コンセプトを世界に発信できると確信している。ある人はそんな素晴らしい国の住民なのだから、大いに自信を持って生きて下さい。日本人であることに感謝し、常にプラス発想で生きていきたい。」
か、とアインシュタインも未来の世界を救うのは日本人だと言っている。我々もがんばって地球貢献したいですね。

(4) 藤間登記茶屋、TOMAグループの原点は私の曾祖父が明治23年 東京部入の内にある裁判所で字が書ける人のための代書屋(司法書士のスタート)でした。大正時代に祖父が登記業務は、その日少しの時間で完了すると3日ほど待つ、事院所の2階に登記茶屋を設け出前の弄司やうるぎで一杯やるかこ待たす。藤間さん、出まがよーと向かいの登記所が大声で口ずかす。登記済証の交付を受ける売主・買主は「おめでとーございますの千様ゆで」藤間登記茶屋は開業する。古き良き時代です(大正昭和初期) 詳しくは 藤間司法書士法人のHPをご覧ください。(http://www.toma-ju.co.jp)

(5) 困っても困、たふあかん！ 松下幸之助
困ることはいいことある。しかしそのことを困ると思えるか、君自身の問題か。困ると思える、さういふ塞りの状態になり、絶対に困ると思える解決の道も見えてくる。問題は問題ではありません。問題は、私達が問題にたい、どう考え、どう対応するか問題なのです。
(サクセスなわー成りへの道しるべ)

(6) 「本気で登りたい」と思ふかか大事(社長のパタミン)
① 自分が登頂したい「山」を決めることなのです。登るか、登らないかは関係ありません。「本気で登りたい」と思ふかどうかです。宣言することです。(目標を宣言)
② ①を決める「標高」が「指標」(具体的な数値行動)
③ いつまでに登るか「期限」
★「宣言」「指標」「期限」の三点セットを定め、一歩踏み出せば、様々なるものが見えてきます。
定み出する人生に、新しい道は絶対ん生まれてくる。

(7) 職場(社長のパタミン)
「職場とは、一人の悲しみと10人の喜びと10倍にすると、職場とは一度の縁から一生の情を育むと、職場とはまさに日本の縮図、職場がスギなると日本もスギになる」

- (8) 「理念と経営」の勉強会(社長幹部がやる会社は、社員が働く、この後さらに(幸にまたまた、一度お会いしましょう。生まれる、があることと企業は認識しなくてはならない。)
- ② 7-7ライフビジネスが「働きやすさ」で、活躍を期待していくことが「働きがい」につながる(①② 武蔵野大学教授 宇島一橋大学大学院教授)
 - ③ 一人ひとりが長期的なキャリアを歩みつくりけるような企業といふサポート
 - ④ 人間性、能力を備えた「いい会社」として、業界をスギにした。
 - ⑤ 簡単に、働き方を3つに分けて、他人事でなく自分ごとにするのが本来の姿だ(④~① 田中シヤノ2メディア社長)
 - ⑥ 「定年」「赤字」「借金」がある「三有」企業で、経営に身を入れたら、
 - ⑦ 「いい会社」には、温かさと優しさ、心の3つを備えた人間性、能力が備わっている(⑧~① 斎藤中心屋社長)
 - ⑧ 空腹を満たすよりも、心を満たす方がよい。
 - ⑨ 「苦しさ」は、あるべき「苦しさ」は、一時的なものです。
 - ⑩ 上司は部下を守り育て、部下は上司を尊敬するよう信頼関係。
 - ⑪ ヒトな店は、まいるのが、店が、ヒトなのはお客様に評価されたい。
 - ⑫ 資源3つの「地産地消」で目指す「三方よし」の資源循環型社会。三方よしは「売り手よし、買い手よし、世間よし」。
 - ⑬ 人の役に立つ仕事、必要とされる仕事を「実感」でやる。社長は「プライド」がもてる。(青山油藤商事専務取締役②③)
 - ⑭ お客様に感謝したいは、やる気と生き生きとした表情に変わる。
 - ⑮ 経営理念の共有を急ぐ。(⑥~① 田中徳太郎社長)
 - ⑯ 理念と経営は、衰退の一端を、山に上る。
 - ⑰ 経営理念は、働く人たちの仕事に「意義」を与える。
 - ⑱ 自分がやったことがない人は、他人を動かせる。
 - ⑲ 心が消耗してるとき、理念を思い出してほしい。



松下幸之助・素直語録

- ★素直にものが見える人は過ちが少ない。経営者はせめて素直の初段にならないといけません。
- ★もし自分に知恵がなければ、先輩にきくとか、あるいは同業の競争相手にもきく。
- ★雑音に心が乱れる、これがいかなです。もちろん、雑音も聞かないといかなです。雑音を全部遮断してしまうとそれは独断になる。ただ雑音にとられないようにする。
- ★自然体やな。自然体の経営。頑固になるのはいけません。"鳴かざればそれまたよしとぎす"これや。
- ★私は知識もないし、力もないし、喧嘩をしたら負ける弱い男です。それが今日こうしてあるのは、自分の才覚もないとはいませんが、それよりも、他人の意見から、いいというものを素直に取り入れたことです。
- ★まあ私は、非常に平易にものを見る、難しくものを見ないように、自分でいつも心がけているんです。
- ★とらわれた心をもってはいかな。名誉にとらわれたり、世間の評判にとらわれたりしない。そういうものにとられないで、"笑わば笑え、自分は正しい道をゆくん"という強さがなかったらいけません。